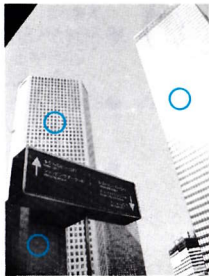


## 露出の決定

被写体の各部を測定して露出を決定します。

1. 被写体最暗部 (シャドウ部) を測定します。  
T優先モード時は測定したデータを露出計にメモリーしておく便利です。
2. 被写体最明部 (ハイライト部) を測定します。
3. シャドウ部とハイライト部より中間値を読み露出を決定します。



☆フィルムには感光の範囲、つまり最も明るい部分から最も暗い部分までの表現ができる範囲(フィルムのラチチュード)があります。従って被写体の明るさがフィルムのラチチュードを越えた場合には、その部分はフィルムに再現されません。一般的にモノクロフィルムではその範囲が128:1(7EV差)、カラーの場合32:1(5EV差)とされています。

このような測定を行なう場合、ビューファインダーを使用すると各部を正確に測定でき便利です。まず表現したい最明部を測定してEV値を読み、次に最暗部を測定してEV値の差を求めて表現ができる範囲内にあるかを確認し、その被写体の露出を決定しま

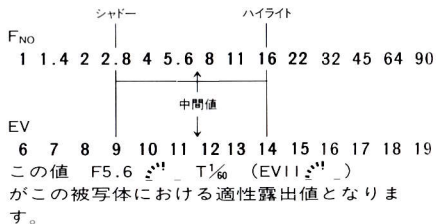
す。

(参考)露出値(EV)目盛りの数値によるコントラスト比は、表のとおりです。

露出値(EV)目盛りの差	コントラスト比	有効露光域
1	2 : 1	
1½	3 : 1	
2	4 : 1	
3	8 : 1	
4	16 : 1	
5	32 : 1	カラーフィルム
6	64 : 1	
7	128 : 1	白黒フィルム

(例) カラーネガフィルムの場合

シャドウ部 F2.8 T $\frac{1}{60}$  ISO100 (EV9)  
ハイライト部 F16 T $\frac{1}{60}$  ISO100 (EV14)  
のとき



(FNoで中間値を読み取る際はアナログ表示部のFNo表示を利用すると便利です。)

## 取扱い上の注意

1. 接点⑥は測定値補正の電気接点となりますので、接触を不安定にする変形、汚れに充分注意して下さい。
2. 接点は金属で出来ていますので、ケガには十分注意して下さい。
3. 受光部5はプラスチックレンズですので清掃はブロワー等でホコリを吹き飛ばすか、軟らかい布で軽く拭き取り常に清潔にしておいて下さい。

## 仕様

測定方式 ● 反射光式

測定範囲 ● 定常光 EV2~22

(ISO100) ● ストロボ光 F4 ~90

受光角 ● 5°

ファインダー ● ガリレオ式(倍率 約1.3倍)

大きさ、重さ ● 68×36×51mm 約44g

※この仕様書に記載の仕様及び外観は、改良の為、予告なく変更することがあります。

# SEKONIC VIEWFINDER 5°

## L-718VF使用説明書

DIGI MASTER  
L-718用



お買いあげありがとうございます使用前にこの説明書を必ずお読みいただきこのL-718VFの性能を十分に活用ください。



株式会社

**セコニック**

〈本社・営業部〉

東京都練馬区大泉学園町7-24-14  
〒178 ☎03(978)2330

〈大阪営業所〉

大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル  
〒541 ☎06(263)1571

〈名古屋営業所〉

名古屋市中区栄5-8-14 万国ビル  
〒460 ☎052(251)6201

〈東京サービスセンター〉

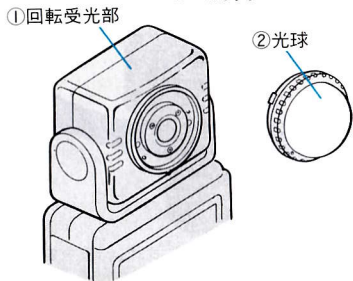
東京都新宿区市ヶ谷田町3-8 新幹ビル  
〒162 ☎03(269)7243

## 各部名称

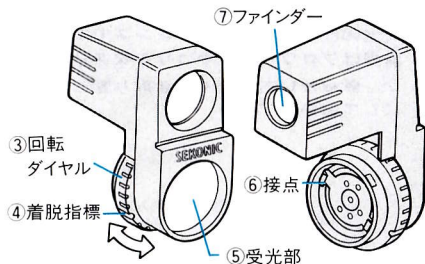
L-718用ビューファインダーは測定物の反射光(輝度)を受光角5°で測定ヶ所をファインダーで確認しながら測定できるアタッチメントです。

光(輝度)を受光角5°で測定ヶ所をファインダーで確認しながら測定できるアタッチメントです。

### 露出計側



### ビューファインダー側



## 取り付け方、取り外し方

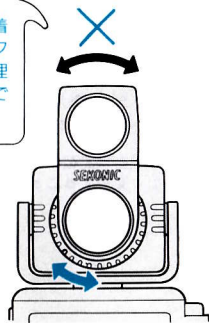
### ●取り付け方

- (1)回転受光部①にセットしている光球②等を反時計方向に回して外します。
- (2)ビューファインダーの回転ダイヤル③の着脱指標④を反時計方向に回し、回転しなくなる位置にセットします。(着脱指標は真下)
- (3)回転受光部にはめ込みます。
- (4)回転ダイヤルを時計方向に回転しなくなる位置(45°)まで回しますと、ビューファインダーはセットされます。

### ●取り外し方

回転ダイヤルを反時計方向に45°回転すれば(着脱指標は真下)ビューファインダーは外れます。

☆露出計本体に装着したままビューファインダーを無理に回転させないで下さい。



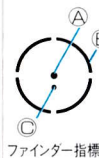
## 測定

1. 露出計本体に使用するフィルム感度(ISO)、測定するモード、及びタイム(又は絞り)をセットします。
2. ファインダー⑦を覗き、サークルを被写体の測定したい部分に向け、露出計本体側面の測光スイッチを押して測定します。
3. コードレスモードの場合は測光スイッチを押し、待機状態にして、ストロボ光を受光するまで、測定部分にサークルを合わせておいて下さい。

### ご注意

★定常光測定で測光スイッチを離したあとも極く短時間測光を続けていますので、測光スイッチを離した後も約0.7秒間はそのままだ動きませんので、測定ヶ所の狙いを外すと測定値に誤差を生じますのでご注意ください。

た後も約0.7秒間はそのままだ動きませんので、測定ヶ所の狙いを外すと測定値に誤差を生じますのでご注意ください。



ファインダー指標

★このファインダーは2眼方式の為、距離によりパララックスがありますので、次のように測定願います。

- 距離が1.5m以上の場合  
Aを中心とする5°のサークルBを用いて測定して下さい。
- 距離が1mぐらいの場合  
Cを測定物の中心に置き測定して下さい。
- 1m以下はパララックスが大きくなります。

●ビューファインダーが故障と思われるとき  
ビューファインダーの測定値がおかしいと思われるとき、正常に作動しているかどうかは、次の方法でご確認できます。

- (1)露出計を定常光EVモードにします。
- (2)ノート等、光沢の無い約20cm四方の均一な明るさの測光面を用意し、露出計本体にビューファインダーを装着し、測光面より約10cm離れた位置で、陰を作らない様に、均一面の中心部を測定します。
- (3)測定モード及び、測光位置を動かさずに、ビューファインダーを光角度板に付け換え同様に測定します。
- (4)(2)と(3)の測定値の差が0.5EV以内であれば正常に作動しています。